



こうじ まさかず 小路正和県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411



12月県議会に登壇し質問する小路議員

教育・道路・水害・農林水産業・…

「外房」の課題をたどる

まず教育の格差是正を

12月県議会

いすみ市選出の小路正和議員は、12月県議会の一般質問に登壇。教育問題を始め、道路、水害、農林水産業など、いすみ市を含む外房地域が抱える様々な課題について事実を挙げて鋭くたどりました。主な質疑応答について紹介します。

県立高校の適正配置

小路議員 「県立学校改革推進プラン」に基づき、大原岬、勝浦若潮の3高校を統合するなど、郡部において県立高校の統合が進められてきた結果、都市部との差が拡大している。郡部の県立高校について、地域の実情に応じた対応が求められると考えるがどうか。

教育長 本年11月に公表した次期県立高校改革推進プラン原案において、「地域の特性に配慮し、地域の振興に寄与する高校の在り方や適正配置」について検討することとしています。

郡部における県立高校の適正な配置については、生徒や保護者のニーズを踏まえ

要望

大原・大多喜・二宮商業と、それぞれ総合学科普通科、商業科という特徴のある伝統校がある。郡部においては、一定の考え方で、是非とも存続していただきたい。

教育と福祉の連携

小路議員 障害のある子供たちへの支援にあたっては、切れ目のない連携が不可欠

外房グリーンラインの実現を!!

長生グリーンラインの整備

小路議員 私の地元いすみ市など外房地域の高規格道路については、「茂原・二宮大原道路」の一部として、長生グリーンラインの整備が進められているが、茂原・二宮大原道路と鴨川・大原道路の取組状況はどうか。

県土整備部長

圏央道の整備効果を外房地域へ広く波及させ、観光の振興、防災力の強化等を図っていくためには、外房地域の骨格を形成する道路の整備が重要であると認識しています。

このため、現在「茂原・二宮・

要望

外房には、長生や夷隅、安房もある中

だが、学校と放課後等デイサービス事業所との連携促進など、「教福連携」に向けた取組状況はどうか。

教育長 学校では、事業所との間で一人一人の活動内容を情報共有できるように、送迎時の引継ぎや、個別の教育支援計画を活用した会議等により連携を図っています。また、市町村等に設置されている自立支援協議会に教育関係者が参加して地域の課題を共有しており、引き続き、切れ目のない支援を行えるよう教育と福祉とが連携してまいります。

学校と民間施設の連携

小路議員 県内の小中学校における不登校児童生徒

数の増加傾向が続いているが、学校と民間施設との連携状況はどうか。また、公的支援についてどう考えるか。

教育長 学校は、フリースクール等の施設に通う子どもがいる場合には、当該施設と意見交換を行うとともに、通所状況や活動内容等を確認し、要件を満たしている場合には、当該施設の出席をもって学校に出席したものと扱い、学習意欲の喚起につなげてまいります。

不登校の対応

小路議員 郡部における不登校児童生徒支援についての取組はどうか。

教育長

県では、訪問相談担当教員を県内各地域に

要望

で「茂原・宮・大原道路」「鴨川・館山道路」「館山・鴨川道路」を外房グリーンライン構想とし、長生だけでなく、外房の連絡道を気に通していく事業化をお願いしたい。

外房グリーンラインの実現を!!

荻谷新田野バイパス整備

小路議員 夷隅地域の経済活性化や観光振興などを図るためには、国道465号荻谷新田野バイパスを整備する必要があると考えるが、進捗状況はどうか。

県土整備部長

荻谷新田野バイパスは、国道465号のいすみ市佐室から増田までの9.1kmのバイパスであ

るが、用地は約6割を確保しています。現在、広域農道から佐室までの5.1km区間について、予備設計を実施するとともに、先行整備区間について検討しております。

要望

荻谷新田野バイパスは、夷隅地域から圏央道へのアクセスルートとして大変重要だが、浸水した佐室地区から荻谷地区に向けてのバイパスでもある。浸水対策については、今後、佐室地区の道路冠水の状況も踏まえて、災害等に強い道路ネットワークの整備を考えていただきたい。できるなら、一体的整備を検討しているのではないかとと思う。

万全な水害対策

浸水地域の対応は
小路議員 近年、全国各地で深刻な水害や土砂災害が発生している。私の地元いすみ市佐室地区先でも台風10号、16号により再度、浸水が発生した。いすみ市佐室の浸水被害を受けて、どのように対応していくのか。

県土整備部長

これまで洪水の痕跡調査などを実施し、現在、把握した浸水範

要望

囲と降雨量の観測記録を用いて、浸水に至ったメカニズムを検証しております。

要望

地元いすみ市とともに設立した「落合川流域浸水対策調整会議」の場で、協議・調整を図りながらハードソフト対策を検討し対応策を取りまとめたい。

要望

人口は多くないが、もしれないが住民は非常に困っている中々難しい問題かもしれないが、できることからお願いしたい。

要望

地元と連携し冠水対策
小路議員 道路冠水による被害を防ぐため、地域で連携しながら対策に取り組むべきと思うがどうか。

県土整備部長

道路冠水水個所については、側溝の敷設等、排水施設の整備を進めるとともに、沿道から道路に流入する雨水も考慮する場合もあることから、地元市町村と連携して冠水対策に取り組んでまいります。

要望

道路冠水は、周辺
の住宅、農業地域
あるいは山間部からと、色々な所から排水が出てくる。その度に、責任のなすり合いのないよう、地域の連携について、知事がリーダーシップをとってお願いしたい。

また、郡部においても教育支援センター等との連携を今後一層密にし、支援の充実に努めてまいります。

要望

スクールソーシャルワーカーや教育支援センターを更に機能させ教育と福祉の連携を切に願う。

令和4年2月16日(水)

小路正和県議会リポート

農協との連携強化へ



自席から質問する
小路議員

農業の生産力強化へ

小路議員 県は、次期「千葉県農林水産業振興計画」の中で、農業の生産力強化に向け、市場動向を捉えた産地の生産体制を強化していくことが、そのために必要な、農協との連携強化をどう進めていくのか。

農林水産部長 野菜産地強化のためには、生産拡大と販売力の強化が必要であり、農協との連携は特に重要であると認識しています。そのため、各産地の農協などと連携し、本県の主要品目について、多様化するニーズに対応した産地づくりを進めてきたところです。

今後も、野菜の主要品目ごとの産地戦略に基づき、集出荷体制の広域化や出荷規格の簡素化に取り組むなど、野菜産地の一層の強化を図ってまいります。

要望 農協との連携を引き続き密にして、地域の農業振興に寄与するよう要望する。また、地域にとって重要な役割を担っている農協や漁協では、近年、事務所等の老朽化などが課題

になっている。総合的な支援を検討していただきたい。

一粒すけの販売促進
小路議員 今年は米価が低迷し、生産者は大変苦しい状況にある。これを脱却す

るため、県が開発した昨年デビューした「粒すけ」を先頭に県産米の需要を回復し、更に拡大する必要がある。

「粒すけ」の販売促進に向けて、県としてどのようなPRを行っているのか。

農林水産部長 県内ファミリー層を中心として「粒すけ」の認知度向上を図るため、昨年度に引き続き家庭のリーフレット配付、飲食店やスーパー、テレビラジオ新聞等を通

要望 「粒すけ」の認知度が高まることで販売促進が図られる。更に県産米全体の需要拡大につながるよ

地域振興事務所など

地域の出先機関強化

小路議員 地域が抱える課題の解決に向けて、地域振興事務所の役割を強化すべきと考えるがどうか。

知事 私の県政ビジョンに掲げたとおり、地域振興事務所の役割強化は大変重要なことだと考えています。

地域振興事務所はこれまで、地域が抱える課題解決に向けて、市町村や管内の出先機関と連携するとともに担当部局とのパイプ役を担うなど、地域における円滑な県政推進に取り組んできたと認識しています。

地域振興事務所が、次期総合計画に掲げた地域づくりなど広域的な行政課題の

役割強化を望む

解決に向けてより、層役割を果たすとともに、危機管理などの面からも平時から市町村と「顔の見える」関係構築していくように機能強化について検討してまいります。

地域振興事務所、土木事務所 農業事務所、土木事務所だけでなく、水産事務所、保健所もある。直接、県民や事業者に対応している各地域の出先機関について、職員の人材育成、業務の継続性、市町村や出先機関相互の連携等、その役割をしっかりと果たすため、更なる機能強化に努めるよう要望する。

普及指導体制の強化

う引き続き、積極的なPRに取り組みよう願いたい。

森林環境税と税の活用
小路議員 災害に強い森林づくりに向け、市町村による森林整備を進めるため、県の森林環境税と税はどのように活用されているのか。

農林水産部長 令和元年度から都道府県に譲与されている森林環境税と税は、市町村の森林整備の支援に活用することとされており、本県の譲与額は令和3年度までの3年間で、約3億1千万円となる見込みです。

今年度は、新たに、森林整備を進めるためのモデルの構築を進めています。今後も、譲与税を活用して、本県の目指すべき健全な森林の実現に向けての中長期計画を策定するなど、市町村による森林

軽石対策

小路議員 本県における軽石の漂流・漂着による漁業被害の防止対策はどうか。

知事 県では、国・関係都県・市町村や漁業関係者と連携した情報収集体制を構築して共有を図るとともに、海上監視や漁業無線による最新の情報提供、注意喚起等を行っています。また、オイルフエンス設置

被害の防止、万全に

要望 本県の漁業者が安心して操業できるよう、軽石対策について、万全を期していただきたい。

整備を進めています。今後も、譲与税を活用して、本県の目指すべき健全な森林の実現に向けての中長期計画を策定するなど、市町村による森林

要望 房総半島にとって森林事業は最も重要な事業の一つであり、積極的

の確保に努めます。

要望 農業事務所等における課題について取り上げたが、水産事務所の普及指導の機能強化にも取り組んでいただきたい。

土木事務所の充実
小路議員 自然災害の頻発化、激甚化やインフラ老朽化を受け、公共事業の予算が増え、土木事務所などの事業量が増加している。土木事務所における土木

の確保に努めます。

安定運航めざせ

小路議員 県内2か所に配備されているドクターヘリは、今やなくてはならないインフラである。国の補助制度拡充に合わせて、県は拡充効果をどのように見込んでいるのか。

保健医療担当部長 ドク

要望 ドクターヘリの経費について、今後も安定的な運航が行われるように補助していただくことを要望する。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所
〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654
TEL・FAX 0470-62-5802